

令和7年度 定時総会要項

期 日 令和7年5月21日（水）

会 場 ホテルレイクビュー水戸



学校に元気を 子どもたちにたくましさを 教職員に活力を

一般社団法人 茨城県教育会

令和7年度 定時総会要項 目次

1 議事

第1号議案	令和6年度事業報告に関する件	2
第2号議案	令和6年度収支決算報告並びに監査報告に関する件	6
	1 貸借対照表	6
	2 正味財産増減計算書	7
	3 監査報告	9
第3号議案	令和7年度事業計画（案）に関する	10
	令和7年度事業計画（案）	10
	（資料1）郡市代表者校訪問計画	13
第4号議案	第76回日本連合教育会研究大会茨城大会に関する件	14
第5号議案	令和7年度役員選任に関する件	6
	（資料2）顧問並びに参加一覧	17
	（資料3）表彰状、感謝状受領者一覧	17

2 諸連絡

連絡第1号	第76回日本連合教育会研究大会茨城大会の確認事項について	18
連絡第2号	構成団体代表者への協力依頼内容一覧	20
連絡第3号	各種事業の推進委員委嘱一覧	21
連絡第4号	統廃合・新設等の状況調査依頼について	22
連絡第5号	教育功績表彰候補者の推薦依頼	23
	（資料4）令和7年度教育功績表彰候補者推薦書	24
連絡第6号	表簿・用紙および卒業証書等の発行について	25
茨城県教育会沿革史抄		26
令和7年度構成団体代表者または事務担当者名簿		29

1 議 事

第1号議案 令和6年度事業報告に関する件

(文中敬称略)

令和6年度事業報告(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1 会員募集に関する事業(構成団体別会員数の推移)

	郡 市 教育会	茨城大学 教育学部 附属学校園	茨城県高 等学校長 協会	茨城県高 等学校教頭・ 副校長会	茨城県高 等学校教 員	幼稚園	県内指導 主事	県内社会 教育主事	茨城県PTA 連絡協議会	合 計
R4	2,706	95	137	2	0	3	201	15	20	3,179
R5	2,691	98	137	0	0	3	202	16	20	3,167
R6	2,646	88	138	0	0	2	195	16	12	3,097
増減	-45	-10	+1	±0	±0	-1	-7	±0	-8	-70

2 教育に関する広報誌等の発行<定款第4条(1)>

(1) 機関誌「茨城教育」の発行、配付

号(発行日)	年間特集主題	副 主 題
第875号(6/20)	令和時代の家庭・地域 とともにある学校づく り	授業改善「主体的・対話的で深い学び」の実践
第876号(10/20)		多様な子どもたち一人ひとりの状況に応じた工夫 ある取り組み
第877号(2/20)		GIGAスクール構想の実現

(2) 機関誌編集委員会の開催

- ・期 日 令和6年5月8日(水)
- ・内 容 編集方針の伝達、執筆者の推薦依頼
- ・委員名 (水戸) 田山 善堂(水戸市立稲荷第二小学校 校長)
(県北) 横山 宏栄(日立市立豊浦小学校 校長)
(鹿行) 野口 孝幸(行方市立北浦中学校 校長)
(県南) 岡 祐己子(かすみがうら市立千代田義務教育学校 校長)
(県西) 落合 睦美(筑西市立伊讃小学校 校長)
(全幼冊) 斎須 久依(茨城大学教育学部附属幼稚園 副園長)
(高校) 小林 勉(元・茨城県立水戸桜ノ牧高等学校 校長)

3 教育の振興並びに郷土文化の継承発展に資するための各種研究調査<定款第4条(2)>

みんなで教育を育める

(1) 「いばらき教育の日」「いばらき教育月間」シンポジウムへの参加(11月16日開催)

基調講演 「考えることは楽しい！」ナゾトキ×探究学習

講師 謎解きクリエイター 松丸 亮吾 様

(2) 機関誌「茨城教育」での『わが郷土の教育遺産(人物・施設)』の連載

(3) 本会所蔵の教育関係図書等の整理並びにリストの作成

4 教育に関する講演会・研究会・研修会・懇談会の開催及びその他文化活動の後援〈定款第4条(3)〉

(1) 教育座談会の開催

- ・期 日 令和6年10月15日（火）
- ・内 容 県内5地区から推薦された5名のパネラーによる「GIGAスクール構想の実現に向けて」をテーマにした話し合い
- ・出席者 （水戸） 外山 祐輔（小美玉市立玉里学園義務教育学校 教諭）
（県北） 出野 洋嗣（高萩市立高萩中学校 教頭）
（鹿行） 山口 一久（潮来市立潮来第一中学校 教頭）
（県南） 石崎 和雄（龍ヶ崎市立龍ヶ崎小学校 校長）
（県西） 小野澤弘之（下妻市立下妻中学校 教頭）
- ・備 考 報告内容を機関誌「茨城教育」第877号（令和7年2月20日発行）に掲載

(2) 郡市教育会代表者研究協議会に係る教育講演会の開催

- ・期 日 令和6年11月5日（火）
- ・講 話 「GIGAスクール構想第2期に向けて今から取り組むべきこと」
講師 水戸市立五軒小学校 教諭 高松 剛 様
郡市教育会代表者・行政関係者・賛助会員 計 45名参加

5 教育論文の募集と顕彰〈定款第4条(4)〉

(1) 若手教員実践記録募集事業

- ・応募数 50点（小：24点、中：23点、義務校：2点、特支校：1点）
- ・審 査 一次審査 郡市代表等 13名 郵送での審査
二次審査 茨城大学 生越 達 教授
- ・優秀実践賞 2名
日立市立会瀬小学校 相田 慎也 教諭
「考えを形成し発信する力の育成をめざした国語科学習における実践」
守谷市立愛宕中学校 古谷 紗季 教諭
「生徒一人ひとりの居場所を作る、つながりを大切にした学級経営」

6 教育功績者の表彰〈定款第4条(5)〉（敬称略）

（水戸）常陸大宮市 西塩子の回り舞台保存会（銀）大貫 孝夫 60名

- 常陸大宮市立大宮北小学校において、伝統芸能の「西塩子の回り舞台」を総合的な学習の時間で指導し、児童の達成感の高揚や郷土愛の醸成に貢献している。

（県北）日立市 水木学区コミュニティ推進会（銀）対馬 幸悦 130名

- 水木まつりや授業支援、地域総合防災訓練や青色パトロールをとおして子どもたちの見守りに貢献し、地域とのつながりの大切さの周知や学校のサポートを組織的に行っている。

（鹿行）潮来市 兼平 芳男

- 学校統合準備に係る検討委員会委員長として地域の意見をとりまとめ、また津知小学校コミュニティスクール協議会委員長として、子どもたちと地域のために継続的・組織的な活動を行っている。

（県南）牛久市 神谷小地区社会福祉協議会（銀）大橋 澄子 24名

- 子どもたちへの見守り活動や奉仕活動、お年寄り子どもたちを結ぶ活動、ゲストティーチャー等を長年継続し、子どもたちと地域住民との関わりを重視した交流活動を行っている。

(県西) 下妻市 平石 利雄

- 38年間、学校田の維持管理を一手に担い、子どもたちに昔ながらの田植えや機械による田植え、稲刈りを体験させて、米作りの流れや郷土の農業の魅力や可能性を伝えている。

7 その他本会の目的を達成するために必要な事業〈定款第4条(6)〉

(1) 組織の充実強化を図る事業

- ① 広報リーフレットの作成と配付
- ② ウェブページの更新
- ③ 郡市教育会代表者校の訪問（5年計画の第3年次）
 - 令和7年2月12日(水) 鹿嶋市立鹿島小学校、ひたちなか市立勝倉小学校
 - 令和7年2月13日(木) 古河市立総和南中学校、結城市立結城小学校
 - 令和7年2月18日(火) 北茨城市立明德小学校、常陸大宮市立村田小学校
 - 令和7年2月25日(火) 土浦市立土浦第四中学校、つくば市立今鹿島小学校

(2) 日本連合教育会に係る事業

- ① 第75回日本連合教育会研究大会愛媛大会への参加
 - ・期 日 令和6年7月25日(木)～26日(金) ※ ハイブリッド方式
 - ・会 場 エスポワール愛媛文教会館
 - ・内 容 分科会提案者 第4分科会(人権教育)
水戸市立上中妻小学校 鈴木 愛梨 教諭
全7分科会に各郡市から24名オンラインで参加
現地での参加2名(会長・事務局長)
- ② 常任理事会
 - ・第1回 令和6年5月17日(金) 東京：五反田事務所
 - ・第2回 令和7年1月10日(金) 東京：五反田事務所
- ③ 拡大常任理事会 令和6年10月11日(金) 東京：五反田事務所
- ④ 理事会
 - ・第1回 令和6年6月21日(金) 東京：工業教育会館
 - ・第2回 令和6年7月25日(木) 愛媛：エスポワール愛媛文教会館
 - ・第3回 令和7年2月14日(金) 東京：自民党会館

(3) 茨城県教育研究連盟との連携・協力事業

- ① 第1回幹事会 令和6年5月13日(月) オンラインによるリモート会議
- ② 第2回幹事会 令和7年2月3日(月) オンラインによるリモート会議
- ③ 第69回茨城県教育研究連盟研究集会 令和6年11月16日(土) オンライン開催

(4) 文部科学省、自由民主党茨城県支部連合会への政策要望書の提出

- ① 文部科学省への提出
 - ・期 日 令和6年7月12日(金)
 - ・場 所 文部科学省大臣官房学習基盤審議官室
 - ・内 容 日本連合教育会としての教育施策要望書提出
- ② 自由民主党茨城県支部連合会への提出
 - ・期 日 令和6年8月26日(月)
 - ・会 場 ホテルレイクビュー水戸
 - ・内 容 県内39郡市教育会の要望事項を取りまとめ、文教警察部会で説明

(5) 出版物の編集、販売事業

① 「茨城県学事関係職員録」

6月／発行、配付（1, 930冊）

② 諸表簿・用紙

10月／職員録掲載の幼・小・中・義務校・高・特支校に申込用紙を送付

12月／「12月分」発送

1月／卒業証書発送（小学校11校、中学校2校、義務校2校、特支校1校）

2月／「2月分」発送

3月／発行・販売反省会

8 各種会議

(1) 定時総会

・期 日 令和6年5月22日（水）

(2) 業務・会計監査会

・期 日 令和6年4月19日（金）

・会 場 茨城県水戸生涯学習センター・分館／会議室

(3) 理事会

① 第1回理事会

・期 日 令和6年5月8日（水）

・内 容 総会提出議案並びに臨時理事会開催案の検討

② 臨時理事会

・期 日 令和6年5月22日（水）

・内 容 会長、副会長の選定

③ 第2回理事会

・期 日 令和7年1月22日（水）

・内 容 業務等進捗状況の確認、次年度推進事業案の検討

(4) 賛助会員代表者会

・期 日 令和6年4月4日（木）

・内 容 賛助会員募集に関する意見、提言の聴取

1 貸借対照表 (令和7年3月31日現在)

貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金	25,057	25,302	△ 245	
預金	8,430,820	6,541,193	1,889,627	
立替金	31,735	0	31,735	
未収入金	1,809,378	2,108,695	△ 299,317	
仮払金	693,708	354,960	338,748	
前払費用	1,050	3,000	△ 1,950	
流 動 資 産 合 計	10,991,748	9,033,150	1,958,598	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産積立預金	6,600,000	7,750,000	△ 1,150,000	
特 定 預 金 積 立 合 計	6,600,000	7,750,000	△ 1,150,000	
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	400,000	350,000	50,000	
教育論文募集引当資産	782,689	662,869	119,820	
特 定 資 産 合 計	1,182,689	1,012,869	169,820	
(3) その他固定資産				
什器備品	143,567	215,241	△ 71,674	
その他固定資産合計	143,567	215,241	△ 71,674	
固 定 資 産 合 計	7,926,256	8,978,110	△ 1,051,854	
資 産 合 計	18,918,004	18,011,260	906,744	
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	1,383,250	1,044,884	338,366	
前受金	63,000	0	63,000	
預り金	19,930	18,990	940	
未払法人税等	82,000	82,000	0	
未払消費税等	494,900	523,000	△ 28,100	
流 動 負 債 合 計	2,043,080	1,668,874	374,206	
2. 固定負債				
退職給付引当金	400,000	350,000	50,000	
教育論文募集引当金	782,689	662,869	119,820	
全国大会引当金	390,751	365,311	25,440	
固 定 負 債 合 計	1,573,440	1,378,180	195,260	
負 債 合 計	3,616,520	3,047,054	569,466	
III. 正味財産の部				
一般正味財産	15,301,484	14,964,206	337,278	
(うち基本財産への充当額)	(6,600,000)	(7,750,000)	(△ 1,150,000)	
正 味 財 産 合 計	15,301,484	14,964,206	337,278	
負債及び正味財産合計	18,918,004	18,011,260	906,744	

1 正味財産増減計算書（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

正味財産増減計算書

（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	112	155	△ 43
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	84	7	77
③ 受取会費			
正会員	9,288,000	9,510,000	△ 222,000
賛助会員	430,000	470,000	△ 40,000
終身会員会費	280,000	320,000	△ 40,000
年額会員会費	150,000	150,000	0
協力会費	375,000	395,000	△ 20,000
④ 事業収益			
出版物収入	17,725,889	18,725,926	△ 1,000,037
広告料収入	425,000	455,000	△ 30,000
図書等幹旋料	0	1,120	△ 1,120
⑤ 受取負担金			
受取負担金	278,000	280,000	△ 2,000
⑥ 雑収益			
受取利息	5,659	110	5,549
雑収入	112,390	112,390	0
経常収益計	28,640,134	29,949,708	△ 1,309,574
(2) 経常費用			
① 事業費	25,512,570	25,441,946	70,624
実施事業	7,173,963	7,378,019	△ 204,056
機関誌発行費	3,919,990	4,016,216	△ 96,226
理事報酬費	84,000	84,000	0
給与手当費	1,166,400	1,166,400	0
福利厚生費	169,345	133,688	35,657
印刷製本費	1,544,400	1,635,700	△ 91,300
通信運搬費	461,593	482,296	△ 20,703
謝礼金支出	265,606	264,504	1,102
会議費	31,774	30,333	1,441
旅費交通費	25,350	15,342	10,008
什器備品費	0	3,960	△ 3,960
消耗品費	81,759	100,683	△ 18,924
行政財産使用料	10,616	12,263	△ 1,647
減価償却費	7,167	10,745	△ 3,578
賃借料	37,540	42,662	△ 5,122
雑費	34,440	33,640	800
教育振興費	2,283,107	2,308,729	△ 25,622
理事報酬費	132,000	132,000	0
給与手当費	1,355,360	1,355,360	0
福利厚生費	254,017	200,532	53,485
印刷費	0	72,700	△ 72,700
通信運搬費	86,066	100,709	△ 14,643
諸謝金	10,000	30,000	△ 20,000
会議費	105,758	86,865	18,893
研究委託費	1,200		
旅費交通費	139,365	152,093	△ 12,728
什器備品費	0	5,940	△ 5,940
消耗品費	65,905	23,244	42,661

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
行政財産使用料	15,924	18,395	△ 2,471
減価償却費	10,751	16,118	△ 5,367
賃借料	56,311	63,993	△ 7,682
雑費	50,450	50,780	△ 330
研究助成費	447,380	428,480	18,900
各種表彰費	94,936	94,594	342
日連教理事会費	78,550	80,000	△ 1,450
全国大会費	150,000	150,000	0
教育論文募集事業費	200,000	300,000	△ 100,000
収益事業	18,338,607	18,063,927	274,680
給与手当費	5,510,560	5,371,840	138,720
福利厚生費	931,400	735,287	196,113
印刷製本費	8,388,274	8,573,324	△ 185,050
通信運搬費	1,632,209	1,573,953	58,256
会議費	163,237	166,835	△ 3,598
旅費交通費	25,925	30,881	△ 4,956
什器備品費	0	21,780	△ 21,780
消耗品費	429,412	462,725	△ 33,313
行政財産使用料	58,392	67,454	△ 9,062
普及費	214,500	0	214,500
租税公課	495,300	523,000	△ 27,700
減価償却費	39,422	59,103	△ 19,681
賃借料	206,476	234,645	△ 28,169
雑費	243,500	243,100	400
②管理費	2,708,286	2,652,350	55,936
理事報酬費	144,000	144,000	0
給与手当費	1,737,280	1,727,600	9,680
退職給付引当金繰入	50,000	50,000	0
福利厚生費	338,690	267,376	71,314
通信運搬費	52,934	62,283	△ 9,349
会議費	59,358	60,667	△ 1,309
旅費交通費	6,700	8,684	△ 1,984
什器備品費	0	7,920	△ 7,920
消耗品費	41,594	23,388	18,206
行政財産使用料	21,233	24,527	△ 3,294
負担費	3,200	3,200	0
租税公課	11,861	10,637	1,224
減価償却費	14,334	21,491	△ 7,157
賃借料	75,081	85,324	△ 10,243
支払手数料	35,011	36,343	△ 1,332
雑費	117,010	118,910	△ 1,900
經常費用計	28,220,856	28,094,296	126,560
当期經常増減額	419,278	1,855,412	△ 1,436,134
法人税等	82,000	82,000	0
当期一般正味財産増減額	337,278	1,773,412	△ 1,436,134
一般正味財産期首残高	14,964,206	13,190,794	1,773,412
一般正味財産期末残高	15,301,484	14,964,206	337,278
II 正味財産期末残高	15,301,484	14,964,206	337,278

3 監査報告

業務・会計監査に関する報告書

一般社団法人 茨城県教育会

会 長 鹿志村 則男 様

私たちは 一般社団法人茨城県教育会の令和6年度における業務執行状況及び会計処理事項等について監査を行ったので 下記のとおり報告します。

記

- 1 監査対象期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
- 2 監査方法の概要
 - (1) 業務監査については、理事会・総会及び他の会議の記録・関係書類を閲覧し、また会長、事務局長から業務の報告を聴取して必要と思われる監査手続きを用い、業務執行の妥当性を検討した。
 - (2) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧等、必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の妥当性を検討した。
- 3 監査結果と意見
 - (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、会員異動状況報告書等は、会計帳簿記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状況を正しく示していると認める。
 - (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
 - (3) 事業の職務執行に関する不正の行為、法令若しくは定款に違反する事実はないと認める。

令和7年4月22日

一般社団法人 茨城県教育会

監 事 錦 木 麻 紀 

監 事 芳 賀 友 博 

令和7年度事業計画案（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

1 教育に関する広報誌等の発行〈定款第4条(1)〉

(1) 機関誌「茨城教育」の発行、配付

号（発行日）	年間特集主題	副 主 題
第878号（6/20）	家庭・地域とともにある学校づくり	授業改善「主体的・対話的で深い学び」の実現
第879号（11/25）		すべての子どもたちの可能性を引き出す学びの充実 ※ 第76回日本連合教育会研究大会茨城大会特集
第880号（2/20）		多様な子どもたち一人ひとりの状況に応じた工夫ある取り組み

(2) 機関誌編集委員会の開催

・期 日 令和7年5月8日（木）

2 教育の振興並びに郷土文化の継承発展に資するための各種研究調査〈定款第4条(2)〉

みんなで教育を考える

(1) 「いばらき教育の日」「いばらき教育月間」シンポジウムへの参加（11月オンライン開催）

(2) 機関誌「茨城教育」での『わが郷土の教育遺産（人物・施設）』の連載

3 教育に関する講演会・研究会・研修会・懇談会の開催及びその他文化活動の後援〈定款第4条(3)〉

(1) 第76回日本連合教育会研究大会茨城大会の開催

- ・期 日 令和7年8月21日（木） ～ 8月22日（金）
- ・会 場 21日：ホテルレイクビュー水戸 22日：水戸市民会館
- ・内 容 「持続可能な社会を切り拓き、未来に誇れる日本人の育成 ～すべての子どもたちの可能性を引き出す学びの充実」をテーマに、10分科会での研究協議

(2) 郡市教育会代表者研究協議会に係る教育講演会の開催 ※ 茨城大会の開催で代替

- ・期 日 令和7年8月21日（金）
- ・会 場 水戸市民会館 グロービスホール
- ・内 容 演題「海外から見た日本の学校教育 一私たちは未来社会の担い手を育てているのか？」
講師 常磐大学学長 富田 敬子 氏
- ・参加者 茨城県 700 名 県外 300 名

4 教育論文の募集と顕彰〈定款第4条(4)〉 ※ 茨城大会の開催で代替

(1) 「優秀実践に学ぶ会」

- 第76回日本連合教育会研究大会茨城大会の第9分科会「青年教師の会」への参加で代替する。

5 教育功績者並びに児童生徒の表彰 <定款第4条(5)>

県内5地区における「教育功績表彰者推薦委員」による名簿により理事会に諮って決定し、次年度定時総会席上にて表彰する。

6 その他本会の目的を達成するために必要な事業 <定款第4条(6)>

(1) 広報リーフレットの作成とウェブページへの掲載

○ 紙媒体での配付からウェブページ上での閲覧とする。

(2) 郡市教育会代表者校の訪問（5年計画の4年目） <p12（参考資料）参照>

(3) 県教研連研究集会との連携・協力事業

「第70回茨城県教育研究連盟研究集会」

・期 日 令和7年11月8日（土）

・内 容 オンライン開催による23分科会での研究協議

(4) 賛助会員代表者会

・期 日 令和7年4月4日（金）

・会 場 茨城県水戸生涯学習センター分館／会議室

・内 容 賛助会員募集に関する意見、提言の聴取

・出席者 (水戸) 根本 福雄、佐藤加代子 (県北) 星 秀男、田邊 一男
(鹿行) 土子 俊雄、石崎千恵子 (県南) 倉田 廣之、久松 隆
(県西) 松崎 茂樹、倉持 利之 (高校) 清水 信昭
(顧問) 清水 千壽、小貫 紀久、高堀 正伸、樋口 浩史

(5) 出版物の編集、販売事業

①「茨城県学事関係職員録」の編集と販売

- ・大正時代から100年以上の長きにわたって編集・発行
- ・大正5年（1916年）に発行されたものが最古、現在県立歴史館に収蔵
- ・昭和5、6、8年版は県立図書館、昭和11年版は国立国会図書館に収蔵
- ・昭和24年以降の職員録が事務所に保管され必要に応じて閲覧
- ・年間のおもな流れ

1月 印刷・発行事前打ち合わせ会

4月 約1,200の学校や教育関係団体に原稿を送付～集約

5月 一次校正→集約→二次校正→取りまとめ、印刷→製本

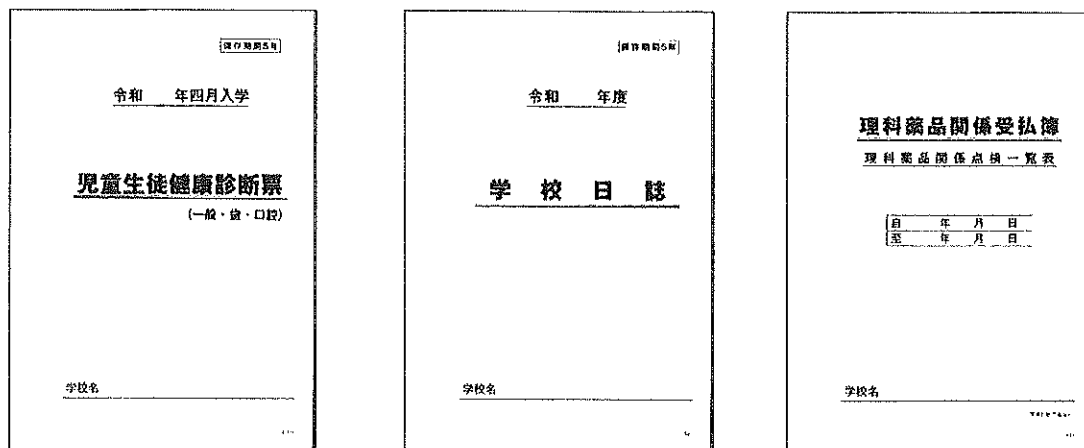
6月 発行、配付

7月 発行・販売反省会



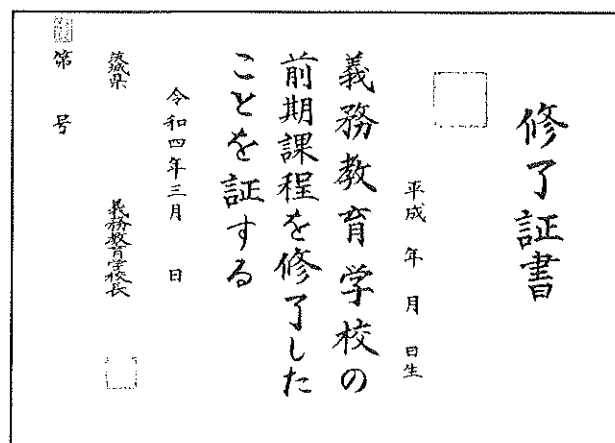
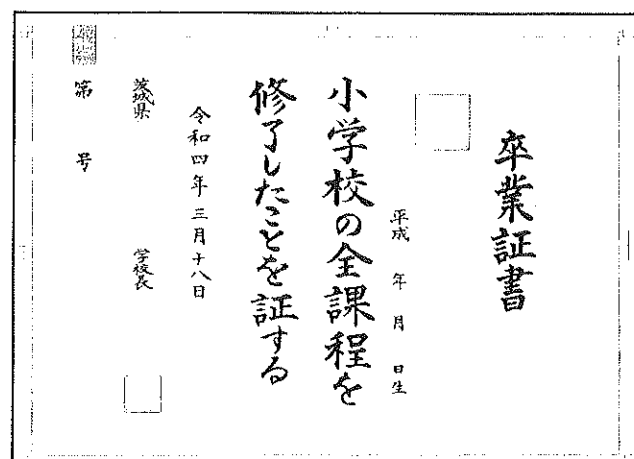
② 表簿・用紙等の編集と販売

- ・学校日誌、保健日誌等の表簿類や指導要録、健康診断票等の用紙類の編集、販売
- ・県教育庁総務課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課、保健体育課等の指導を受けながら編集
- ・幼、小、中、義務教育学校、高、特別支援学校等 約350校・園が利用



③ 卒業証書・修了証書の編集と販売

- ・学校のニーズに対応して販売
- ・小中学校、義務教育学校、高校・特別支援学校20校程度に販売



(資料1) 郡市代表者校訪問計画 (令和4年度起)

	郡 市 名	訪 問 年 度				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	水 戸 市	緑岡小	第三中	渡里小	常磐小	
2	笠 間 市	稲田中■				
3	ひたちなか市			勝倉小▲		
4	常 陸 大 宮 市			村田小■		
5	那 珂 市				■第一中	
6	小 美 玉 市	小川南小▲				
7	東 茨 城 郡					
8	那 珂 郡				■照沼小	
9	久 慈 郡		生瀬小■			
10	目 立 市	久慈中■				
11	常 陸 太 田 市		機初小■			
12	高 萩 市					
13	北 茨 城 市			明德小■		
14	鹿 嶋 市			鹿島小▲		
15	潮 来 市		延方小▲			
16	神 栖 市				▲波崎西小	
17	行 方 市	麻生東小▲				
18	鉾 田 市					
19	土 浦 市			土浦四中◆		
20	石 岡 市					
21	龍 ケ 崎 市	城ノ内小◆				
22	取 手 市				◆桜が丘小	
23	牛 久 市	牛久小◆				
24	つ く ば 市			今鹿島小◆		
25	守 谷 市		愛宕中◆			
26	稲 敷 市		東中▲			
27	かすみがうら市				●千代田義務	
28	つくばみらい市					
29	稲 敷 郡		阿見一小◆			
30	北 相 馬 郡				◆利根小	
31	古 河 市			総和南中●		
32	結 城 市			結城小●		
33	下 妻 市					
34	常 総 市				●飯沼小	
35	筑 西 市		竹島小●			
36	坂 東 市					
37	桜 川 市	南飯田小●				
38	結 城 郡	八千代一中●				
39	猿 島 郡		五霞西小●			

※ 水戸市は別扱いとする。

(表中の■▲◆●印は、訪問日の組み合わせを表します)

関係各位

令和7年4月吉日
日本連合教育会 会長 佐藤 利弘
(一社)茨城県教育会 会長 鹿志村則男

第76回 日本連合教育会研究大会茨城大会 ご案内

皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。
日本連合教育会は、昭和24年発足以来、常に中正不偏の日本教育の確立をめざし、世界の平和と人類の福祉に貢献できる日本人を育成するために真摯な実践を続け、第76回日本連合教育会研究大会を茨城県で開催する運びとなりました。

現代社会は、高度な技術革新、情報化等、社会が激しく変化し見通すことが難しくなり、さらに人口減少や高齢化、デジタルトランスフォーメーション、グローバル化や多極化、そして地球環境問題等がこれまで以上に進行しています。今回の茨城大会では、これらの変化から可能性を見だし、人間らしく積極的に明日の日本を創造する子どもの育成を目指し、大会主題を「持続可能な社会を切り拓き、未来に誇れる日本人の育成」としました。

県内の先生方、保護者、地域の皆様をはじめ、全国各地から多くの皆様にご参加いただき、未来を担う子どもたちの育成と成長について語り合うことができますよう心からお待ち申し上げ、ご案内いたします。

茨城大会開催要項

大会主題 持続可能な社会を切り拓き、未来に誇れる日本人の育成
～すべての子どもたちの可能性を引き出す学びの充実～

- 1 主 催 日本連合教育会 一般社団法人茨城県教育会
- 2 後 援 文部科学省 茨城県 茨城県教育委員会 水戸市 水戸市教育委員会
茨城県市町村教育委員会連合会 茨城県市町村教育長協議会 茨城県教育研究連盟
茨城県学校長会 茨城県高等学校長協会 茨城県教育研究会 茨城県高等学校教育
研究会 茨城県国公立幼稚園・こども園長会 茨城県国公立幼稚園・こども園教育研
究会 茨城県小中学校教頭会 茨城県高等学校教頭・副校長会 茨城県PTA連絡
協議会 茨城県高等学校PTA連合会 茨城県退職校長会 茨城県退職高等学校長会
茨城県退職教頭会 茨城県退職公務員連盟 日本教育公務員弘済会茨城支部
水戸コンベンション協会
- 3 期 日 令和7年8月21日(木)～22日(金)
- 4 会 場
 - (1) 理 事 会 ホテルレイクビュー 水戸 (水戸市宮町1-6-1) ☎029-224-2727
レセプション
 - (2) 全 体 会 水 戸 市 民 会 館 (水戸市泉町1-7-1) ☎029-303-6226
 - (3) 分 科 会 水 戸 市 民 会 館 (水戸市泉町1-7-1) ☎029-303-6226

5 日 程

		15:00 15:30		16:50 17:00		19:00
8月21日 (木)		受付	日連教理事会	休憩	レセプション	
		8:30	9:00	9:40	10:00	11:30
8月22日 (金)	受付	開会式	全体会	記念講演	アトラクション	移動 昼食
				12:00 13:00		16:00
						分科会

6 大会内容

- (1) 開 会 式 挨拶・祝辞・表彰等
- (2) 全 体 会 日本連合教育会会務報告 大会主題設定の趣旨説明
大会宣言文採択 次期開催地 信濃教育会挨拶
- (3) 記 念 講 演 講師：前常磐大学 常磐短期大学 学長 富田敬子 氏
演題：海外から見た日本の学校教育
ー私たちは未来社会の担い手を育んでいるのか？ー
- (4) アトラクション 水戸葵陵高等学校 書道部
- (5) 分 科 会

No.	分 科 会 名	協 議 題	提案 教育会	会 場
1	教 育 課 程	「令和の日本型学校教育」の構築を目指す教育課程の編成	滋賀県 茨城県	水戸市民会館 4階 小ホール
2	学 習 指 導	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	呉市 香川県 茨城県	3階 大会議室 A
3	外 国 語 教 育	他者と関わり合いながら、課題を解決していくとする人材を育成する外国語教育の推進	富山県 茨城県	3階 大会議室 B
4	道 徳 教 育	自他を尊重し、共に力を合わせようとする心を育む道德教育	愛媛県 茨城県	3階 大会議室 C
5	生 徒 指 導	一人ひとりを大切にしたい「チーム学校」で取り組む生徒指導の推進	山口県 茨城県	3階 中会議室
6	特 別 支 援 教 育	一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	信 濃 茨城県	2階 展示室
7	人 権 教 育	人権感覚を身に付け、共に学び、豊かな心を育む人権教育の在り方	東京都 茨城県	2階 展示室
8	幼 児 教 育	子どもの思いや願いを実現し、遊びこむ保育の質の向上	徳島県 茨城県	3階 ミーティングラウンジ
9	青 年 教 師 の 会	すべての子どもたちの可能性を引き出す学びの充実	長崎県 茨城県	2階 展示室
10	学校・家庭・地域の連携	コミュニティ・スクールから地域づくりへ	栃木県 茨城県	4階 中ホール

7 参加予定者 約1,000名（県外350名 県内650名）

8 大会参加費 5,000円（大会資料代等/税込）

1 理事推薦

理事	鹿志村 則 男	(一般法人 茨城県教育会 会長)	
理事	玉 井 康 浩	(水戸市教育会 会長／水戸市立常磐小学校 校長)	補充
理事	深 谷 靖	(茨城県高等学校長協会 協会長／茨城県立土浦第二高等学校 校長)	補充
理事	助 川 公 継	(茨城女子短期大学 副学長)	
理事	小 林 ゆかり	(水戸市歯科医師会 理事／こばやし歯科 副院長)	
理事	勝 二 博 亮	(茨城大学教育学部 学部長)	
理事	草 地 学	(茨城県PTA連絡協議会 会長)	
理事	鈴 木 宏 一	(茨城県学校長会 会長／水戸市立三の丸小学校 校長)	補充
理事	遠 藤 智 幸	(茨城県学校長会 副会長／行方市立玉造中学校 校長)	補充
理事	日下部 秀 雄	(一般法人 茨城県教育会 顧問)	

2 監事

監事	鈴 木 麻 紀	(水戸市立五軒小学校 校長)
監事	芳 賀 友 博	(日立市立楡形小学校 校長)

定 款 (抄)

第5章 役 員 等

(役員の設定)

第19条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 3名以上15名以内

(2) 監事 3名以内

2 理事のうち1名を会長とし、会長以外の理事のうち2名を副会長とする。

3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第20条 理事および監事は、総会の決議によって選任する。

2 会長、副会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

— 中 略 —

(役員任期)

第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了または辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(資料2) 顧問並びに参加一覧 (敬称略)

- 顧 問 清 水 千 壽 元会長
小 貫 紀 久 元会長
春 田 義 邦 元会長
高 堀 正 伸 元会長
樋 口 浩 史 前会長

□ 参 与

- 令和6年度総会から令和8年度総会まで
古 橋 賢 治 副会長(令和5年度)
白 土 毅 副会長(令和5年度)
野 崎 英 明 理事 (令和4～5年度)
志 賀 正 章 理事 (令和5年度)
櫻 井 千 洋 理事 (令和5年度)
○ 令和7年度総会から令和9年度総会まで
久保田 直 人 副会長(令和6年度)
渡 辺 剛 副会長(令和6年度)
大 芝 静 香 理事 (令和6年度)
小松崎 龍太郎 理事 (令和6年度)

定 款 (抄)

第5章 役 員 等

(名誉会長・顧問・参与)

第27条 この法人に、任意の機関として名誉会長・顧問・参与若干名を置くことができる。

- 2 名誉会長・顧問・参与は、理事会が任期を決めたうえで選任し、会長が委嘱する。
3 名誉会長・顧問・参与は、会長の諮問に応じ意見を開陳することができる。
4 名誉会長・顧問・参与は無報酬とし、任期を2年とする。ただし、再任を妨げない。

(資料3) 表彰状、感謝状受領者一覧 (敬称略)

1 表彰状

(1) 教育功績者として表彰される団体または個人 (3団体・2個人)

- (水戸) 団体〈常陸大宮市〉西塩子の回り舞台保存会 (会長 大貫 孝夫)
(県北) 団体〈日立市〉 水木学区コミュニティ推進会 (会長 対馬 幸悦)
(鹿行) 個人〈潮来市〉 兼平 芳男
(県南) 団体〈牛久市〉 神谷小地区社会福祉協議会 (会長 大橋 澄子)
(県西) 個人〈下妻市〉 平石 利雄

(2) 若手教員実践記録「優秀実践賞」受賞者

- 相田 慎也 教諭 (日立市立会瀬小学校)
○ 古谷 紗季 教諭 (守谷市立愛宕中学校)

2 感謝状 (退任する役員)

- 副会長 久保田 直 人 (令和7年5月21日退任予定)
副会長 渡 邊 剛 (令和7年5月21日退任予定)
理事 大 芝 静 香 (令和7年5月21日退任予定)
理事 小松崎 龍太郎 (令和7年5月21日退任予定)

2 諸連絡

連絡第1号 第76回日本連合教育会研究大会茨城大会の確認事項について

茨城大会 確認事項及び担当

1 参加費について [庶務係：会計係]

- 参加者（役員・提案者・係員等も含む）は、1人5,000円の参加費を負担する。（助言者を除く）
- 参加費は、指定された常陽銀行の口座に下記の期日までに納入
 - ・ 県外の参加者は、7月11日（金）までに
 - ・ 県内の参加者は、原則5月30日（金）までに ただし、賛助会員等は7月11日（金）
- 振込手数料は、原則払い込み者の負担とする。ただし、郡市で一括納入の場合は、振込手数料は立て替えていただいて、後日弁済する。

2 謝金について [会計係：大森]

- 講演会講師
- アトラクション（水戸葵陵高校）
- 助言者
- 提案者（茨城県のみ） ※資料作成費
- ※ 旅費は別途支給

3 旅費について（1日あたり） [会計係：大森]

- 係員旅費 500 円～4,000 円
- ※ 係員駐車場は、民間駐車場を利用（駐車料金は24Hで300円～800円）

4 レセプション会費について [庶務係・会計係]

- 日連教役員、茨城県教育会関係者からはいただかない。運営事務局が負担する。

5 大会要録の配付について [総務部・編集部]

- 日連教役員（21日の理事会参加者） 理事会で配付（レイクビュー水戸：偕楽の間）
- 茨城県以外 原則として、宿泊するホテルへ前日に届ける。（県単位で宿泊の場合）それ以外は当日に受付で配付。（受付の設置が必要）
- 県内 事前に配付（7月29日の県教育研究会評議員会で配付依頼→参加者）※予定

6 弁当について [総務部]

- 参加費を納めた参加者及び助言者全員に配付
 - ・ 役員等 控え室で提供
 - ・ 助言者・提案者等 各分科会場で提供（昼食後打ち合わせ）
※第10分科会は、中会議室307号で昼食と打ち合わせを行う。
 - ・ 分科会参加者 各分科会場で提供（第10分科会を除く）
※ 第10分科会会場の中ホール内では飲食できない。（配付はやぐら広場）→ 2F中会議室・小会議室（一部控え室で使用）、2Fラウンジギャラリー、2F南側階段状テラス、4F屋上庭園等
- 来賓等への配付は以下のとおり
 - ・ 来賓 配付しない（午前の部終了までの参加者には配付）
 - ・ 講演者 配付 控え室で提供
 - ・ アトラクション演者 配付 控え室で提供

7 看板等について [全体会運営部・研究推進部・総務部]

- 「第76回日本連合教育会研究大会茨城大会」立て看板 表玄関設置
- 大ホール：全体会運営部
 - ・ ステージ上横吊り看板（大会名）
 - ・ ステージ上大会主題名吊り幕
 - ・ ステージ上講演題名吊り幕
 - ・ 盛花
 - ・ 座席表示看板（各都県市） 11団体 ※ 茨城は表示をしない。
- 控え室等の表示看板：総務部

：全体会
運営部

- 分科会会場表示看板 : 研究推進部
- 分科会会場内「研究協議題」表示 : 研究推進部
- 受付での表示看板（ブロックごと） : 総務部

8 配付物について [総務部・編集部]

- 大会要項 印刷所依頼
- 参加者名簿 印刷所依頼
- 紙封筒（角20サイズ） 印刷所依頼
- 観光案内資料 水戸コンベンション協会より
- 観光案内資料用封筒 水戸コンベンション協会から提供
- ※ アンケートは、QRコード読み取りで行う。（要項内に印刷）[総務部・庶務係]

9 21日（木）の準備及び係員について

- 水戸市民会館係員 水戸地区 46名 [全体会運営部・研究推進部]
 - ・全体会場準備
 - ・分科会場準備 パーティションの設置（会議室・展示室・ミーティングラウンジ）
机・椅子移動も一部行う
 - ・控え室準備
 - ・来賓等の案内ルート確認（地下駐車場から控え室）
- レイクビュー水戸 2名（運営委員長・副運営委員長）[庶務係]
 - ・理事会の受付
 - ・レセプションの受付
- 県外参加者への要項配付（各宿泊ホテルへ） 水戸地区 8名 [総務部・編集部]

10 22日（金）の係員について

- 全体受付 県北・鹿行・県南・県西地区からの2名×4 8名 [総務部]
 - ・県外受付
 - ・来賓受付
 - ・幼稚園受付
 - ・賛助会員等受付
- ※ 来賓等の案内は、実行委員（総務部）で行う。
- 分科会会場・受付 ※ 1分科会 4名設定。 [研究推進部]
 - ※ 弁当の配付 受付配付か机上等への配付か

11 土産物等の販売について

- ※ 土産物等の販売を業者に委託することも可能。（市民会館へ確認済み）

12 救護室等について [救護係]

- 会館内の救護室をあてる。
- ※ 係員は配置しない。

13 水戸市民会館の借用形態 [庶務係・会計係]

- 21日（木） 13：00～22：00 全館貸し切り
- 22日（金） 7：30～17：00 全館貸し切り
- ※ 開館前1時間の料金派生

14 駐車場について [全体会運営部]

- 来賓用駐車場 水戸市民会館地下駐車場 ただし15台まで
- ※ 来賓を15名以内に抑える。
- 助言者用駐車場 水戸市営五軒立体駐車場 ※ 予約不可
- 係員駐車場 周辺の駐車場を利用（事前に1人500円の駐車料金を支給）
- 参加者駐車場 周辺の駐車場を利用

連絡第2号 構成団体代表者への協力依頼内容一覧

No.	協力を依頼する内容	予定期日	具 体 的 な 依 頼 内 容
1 ㊦	会員募集案内文書の配付	4月上旬～	・代表者校宛てに届いた会員募集案内を郡市内各校に配付 ・会費の取りまとめと振込（5月末締切）
2 ㊦	郡市教育会組織の報告	4月18日（金） までに	・「郡市教育会の役員及び事務局等に関する報告用紙」による報告（「学事関係職員録」作成基礎資料となる）
3	定時総会への出席 ★	5月21日（水）	・各団体を代表しての議決権の行使
4	各種委員等の委嘱	5月21日（水）	・p21 連絡第3号 を参照
5	茨城大会係員事前打合せ会		・8月21日（木）・22日（金）の係員の打ち合わせ
6	機関誌「茨城教育」878号配付	6月20日発行	・届いた会員数分を各学校へ配付
7	いばらき自民党への政策要望取りまとめ委員	6月30日（月） までに	・担当委員は各ブロック内教育会の要望を取りまとめ報告（文書が届き次第、該当取りまとめ委員に通知）
8	第76回日連教茨城大会への参加	8月22日（金）	・大会全体会及び分科会への参加
	教育座談会出席者の推薦委員		※ 今年度は、茨城大会実施のため「教育座談会」実施せず。
	「優秀実践に学ぶ会」出席者推薦		※ 今年度は、茨城大会実施のため「優秀実践に学ぶ会」実施せずに、茨城大会第9分科会「青年教師の会」への参加で代替する。
	郡市教育会代表者研究協議会に係る教育講演会		※ 今年度は、茨城大会実施のため「教育講演会」実施せず。
9	学校等統廃合・新設等の報告	11月7日（金） までに	・学校・園の統廃合や新設についての報告 ・p22 連絡第4号 を参照・
10	教育功績表彰候補者の推薦	11月14日（金） までに	・p23 連絡第5号 を参照 ・貴郡市の推薦候補者を各管内取りまとめ委員へ報告 ・取りまとめ委員は、1名（1団体）を事務局へ推薦
11	機関誌「茨城教育」879号配付	11月25日発行	・878号同様の対応。ただし、茨城大会特集のため茨城大会参加者への配付も行う。
12	機関誌「茨城教育」880号配付	2月20日発行	・878号同様の対応
13	次年度代表者への引き継ぎ	3月中・下旬	

※ 表記内容は令和7年5月時点での計画であり、今後内容等を変更する場合があります。

※ ★印のついている事業は、旅費主催者負担で開催します。

※ 各文書等の発信を、原則として「県教育情報ネットワーク」学校代表アドレスを利用して行います。ご理解のうえご協力くださいますようお願いいたします。

		郡市教育 会代表者 校訪問	7 政策要 望取りまと め委員	8 茨城大 会への参 加	座談会出 席者推薦 委員	「優秀実践 に学ぶ会」 出席者推薦	教育講 演会	9 学校等 統廃合・ 新設等の 報告	10 教育功 績表彰者推 薦取りまと め委員
1	水戸市	●	●(水戸)	●				●	
2	笠間市			●				●	
3	ひたちなか市			●				●	●(水戸)
4	常陸大宮市			●				●	
5	那珂市	●		●				●	
6	小美玉市			●				●	
7	東茨城郡			●				●	
8	那珂郡	●		●				●	
9	久慈郡			●				●	
10	日立市			●				●	
11	常陸太田市		●(県北)	●				●	
12	高萩市			●				●	
13	北茨城市			●				●	●(県北)
14	鹿嶋市			●				●	●(鹿行)
15	潮来市		●(鹿行)	●				●	
16	神栖市	●		●				●	
17	行方市	+		●				●	
18	鉾田市			●				●	
19	土浦市			●				●	
20	石岡市			●				●	
21	龍ヶ崎市			●				●	
22	取手市	●		●				●	
23	牛久市			●				●	●(県南)
24	つくば市			●				●	
25	守谷市			●				●	
26	稲敷市	●		●				●	
27	かすみがうら市			●				●	
28	つくばみらい市			●				●	
29	稲敷郡		●(県南)	●				●	
30	北相馬郡	●		●				●	
31	古河市			●				●	
32	結城市			●				●	
33	下妻市		●(県西)	●				●	
34	常総市	●		●				●	
35	筑西市			●				●	
36	坂東市			●				●	
37	桜川市			●				●	
38	結城郡			●				●	
39	猿島郡			●				●	●(県西)
40	茨大附属学校・園			●事前申込					
41	県高校長協会			●事前申込					
42	県内指導主事			●事前申込					
43	県内社教主事			●事前申込					
44	県 P 連			●事前申込					

【教育情報ネットワークにてご連絡します】

茨 県 教 第〇〇号
令和7年 10月〇〇日

各郡市代表者 様

一般社団法人茨城県教育会 会長 鹿志村 則男

令和8年度始における学校園等異動状況に関する情報提供について（お願い）

中秋の候 貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

令和7年度版「茨城県学事関係職員録」の編集にあたりまして、ご多用の中、多大なるお力添えをいただき感謝申し上げます。おかげさまで、充実した内容の刊行物をお届けすることができましたこと、御礼申し上げます。

さて、間もなく「令和8年度版」の編集に向けて準備が始まります。特に学校園等の異動（新設・移行・分離・廃止・変更）について、正確な情報を把握することが次年度版の編集準備において不可欠でございます。

つきましては、各郡市等の状況についてご存知の範囲で別紙様式での報告について、ご協力くださりますようお願い申し上げます。

記

1 内容

- ① 令和8年度始貴郡市内の学校園の異動（新設・移行・分離・廃止・変更）状況
 - (1) 公立小学校・中学校・義務教育学校について
 - (2) 幼稚園、幼保連携型認定こども園等について
 - (3) 上記学校園の変更（住所等の変更）について
 - (4) 県立学校（高等学校・附属中学校・中等教育学校・特別支援学校）について
 - (5) 私立の学校園等
 - (6) その他

2 報告

- ① 報告様式【別紙様式】令和8年度学校園の異動状況
エクセルファイルの記入例を参考にしてください。
該当がない場合初めの行に「該当なし」と入力し返信願います
- ② 報告期限 令和7年11月 7日（金曜日）
- ③ 報告先 茨城県教育情報ネットワーク kyouikukai@eo.ibk.ed.jp
(一社)茨城県教育会 主事 芳尾信一郎 宛

3 その他

- ① 報告後、統廃合等の変更がありましたら、随時ご連絡願います。
- ③ 12月12日頃に、再度確認の調査を行います。

(一社)茨城県教育会	
〒310-0911	水戸市見和一丁目 356-2
	茨城県水戸生涯学習センター分館
担当	主事 芳尾 信一郎
TEL	029-221-2747
FAX	029-226-4337

連絡第5号 教育功績者表彰候補者の推薦依頼

1 事業の根拠

定款 第2章（目的および事業）第4条（事業）の（5）教育功績者並びに児童生徒の表彰

2 表彰規定（抜粋）

(1) 被表彰者

- 地域教育の振興に尽力した者
- 学校・園の教職員並びに一般

【例】

- ・ 地域の読書活動・環境浄化活動等の普及・推進に尽力している個人・団体
- ・ 地域の芸術・文化・スポーツ活動等の普及・推進に尽力している個人・団体
- ・ 地域の青少年健全育成活動等の普及・推進に尽力している個人・団体
- ・ 園・学校等の教育活動を支援するボランティア活動を推進している個人・団体
- ・ その他

(2) 該当者の推薦と決定

- ① 各学校長は、別紙様式1「教育功績者表彰候補者推薦書」により、各郡市教育会代表者に提出する。（各校1名か1団体以内とする）
- ② 郡市教育会代表者は、郡市内の推薦候補者の順位付けをして、各ブロックの教育功績表彰候補者推薦委員へ別紙様式1「教育功績者表彰候補者推薦書」を提出する。
- ③ 全県を5ブロックに分け、毎年全5ブロックから該当者の推薦をいただく。各ブロックの教育功績表彰候補者推薦委員が該当ブロックの各郡市代表者の報告をもとに推薦に当たる。
- ④ 教育功績表彰候補者推薦取りまとめ委員は、推薦の順位付けをして別紙様式1「教育功績者表彰候補者推薦書」、候補者集計表により、教育会事務局へ提出する。
- ⑤ 推薦のあった者を理事会において審議し、該当者を決定する。（各ブロック1名か1団体）

(3) 表彰

- ① 対象は原則として県全体で5（個人・団体）程度
- ② 表彰は、次年度の本会定時総会の席上
- ③ 表彰内容は、総会要項及び機関誌「茨城教育」誌上・ホームページで紹介
- ④ 賞状並びに記念品を贈呈

3 令和6年度 表彰対象候補者のスケジュール

令和7年5月21日（水）	事業内容の説明	定時総会
令和7年6月 2日（月）	募集通知	教育情報ネットワークおよびホームページ
○ 各学校で候補者の選定		
令和7年10月14日（火）	郡市代表者提出締切日	① 学校 →郡市代表者
○ 郡市で候補者の選定		
令和7年11月14日（金）	ブロック取りまとめ委員へ提出	② 郡市代表者 →ブロック取りまとめ委員
○ ③ ブロック取りまとめ委員は表彰対象者を内申		
令和7年12月 5日（金）	茨城県教育会へ提出	教育情報ネットワーク ④ ブロック取りまとめ委員 →茨城県教育会
令和8年1月21日（水）	表彰対象者の承認	⑤ 第2回理事会
令和8年2月 2日（月）	対象者決定通知	教育情報ネットワーク
令和8年5月21日（木）	表彰式	定時総会

教育功績者表彰候補者推薦書

令和 年 月 日

ブロック (ブロック名を○で囲んでください) 水戸・県北・鹿行・県南・県西		推薦者	学校名	
区 分	(個人・団体の別を○で囲んでください) 個 人 団 体		職・氏名	

ふりがな 候補団体名と代表者名 または個人候補者名			性別	年齢
			男 女	歳
候補者住所 並びに連絡先	住 所			
	郵便番号		電 話	
活動人数	活 動 期 間		同活動に対する過去の受賞歴がなく、かつ現在も活動が継続中であることをご確認ください。	
	(平成・令和 年～令和 年)・ 年間			
功 績 の 概 要				
活動のあらまし				
おもな活動 (箇条書きで)				
推薦者所見 (活動の成果や貢献度を中心に表記してください)				

表簿・用紙および卒業証書等の発行について

1 通信手段について

	令和2	令和3～5	令和6	令和7～
ご案内方法	・ 郵便【全校】	① 郵便【顧客リスト校】 ② メール【全校】		・ メール【全校】 ※ 希望校には郵送
		令和5年10月 表簿価格改定 (仕入値値上のため)	令和6年10月 郵便・宅配 料金価定	
お申し込み方法	郵便【全校】	郵便【全校】	① 郵便 ② 電子メール	
			郵便:電子メール 6:4	
配達方法	郵便(250g または 3cm厚まで) 宅配便			

2 新製品について

① 表簿等

コンピュータ出力用紙に対応した表紙(アンケートによる現場のニーズ)

- ・ 4穴→2穴 (出席簿等)
 - ・ 上2穴→左横2穴 (健康診断の記録)
 - ・ 日誌類の表紙販売 (学校日誌 当直日誌 など)
- (コンピュータ出力対応版と従来版の両方を販売中)
- ・ 理科薬品受払簿 表紙・用紙

② 卒業証書等

義務教育学校向け 修了証書
変形用紙A3ノビ

3 改訂について

在庫がなくなり次第順次改訂する内容

印の廃止
例 (記入者 印) → (記入者)
(校長 印) → (校長)

ご意見をお待ちしております。

茨城県教育会沿革史抄

年 月 日	沿 革 概 要
明治17. 1. 5	茨城県師範学校において「茨城教育協会」発会式挙行 この日をもって本会創立の日とする
17. 3. 12	『茨城教育協会雑誌』第1号創刊 事務所を水戸市上市大町28番地に置く
24. 4. 26	30日まで開催された第1回全国教育聯合会（東京）に本会代表を派遣する
28. 8.	茨城教育協会主催「第1回夏期講習会」を開催 278名の修了生を出す
33. 4.	県より補助を受け准教員養成講習会を開く
34. 1	茨城県教育協会と各郡の教育会が同盟し「茨城県聯合教育会」を組織する
40. 3. 21	「小学校令」改正 41年度より義務教育を6年に延長し中・高女入学資格が6年卒業となる
41. 4. 1	県内郡市教育会に学力向上のため茨城教育協会との大同団結の機運が高まる 茨城教育協会を改組「茨城県教育会」と改称し新会則を制定 会長に茨城県知事、副会長には茨城県（男女）師範学校長が就任
41. 7.	従来の機関誌「茨城教育協会雑誌」を『茨城教育』と改名し第286号として発刊する
41. 10. 25	事務所を水戸市三の丸39番地より県庁内に移す
42. 10. 1	茨城県教育会教員大会として第1回総会を県議会議事堂にて開催する
43. 4.	7日まで第7回関東連合教育会を女子師範学校にて開催し同校にて教育品展覧会を開く 師範学校及び女子師範学校校舎の一部を借り受け修業年限1か年の准教員養成所並びに裁縫専科教員養成所を開設する
大正7. 5.	女子師範学校内に修業年限2か年の女子尋常小学校本科正教員養成所を開設する
11. 4.	児童月刊雑誌『旭』を創刊する
11. 10.	『茨城教育』学制公布五十周年記念号を発行する
13. 3. 26	28日まで茨城県師範学校において第20回関東連合教育会を開催する
13. 4.	夜間中学「弘道学院」を水戸中学校内に開設する
14. 3. 24	26日まで茨城県教育改善案発表会並びに資料展示会を開催する
14. 4. 3	『茨城県教育改善案』を刊行する
昭和5. 10. 24	教育勅語頒布40周年記念事業として「教育会館建設の議」が起こり茨城師範学校において臨時総会を開く
6. 11.	県知事より合同による茨城会館建設要請があり会館建設合同協議会を設置する
7. 10. 14	16日まで県立水戸高等女学校において第27回関東連合教育会を開催する
10. 4.	茨城会館共同使用に関する覚書の交換をする
10. 5. 18	茨城県教育会創立五十周年記念式典並びに茨城会館落成祝賀会を挙げる
13. 4. 9	教育会総会にて「国民精神総動員運動」の趣旨実現に対する宣言を行う
14. 9. 20	本県教育の目標を明らかにした「茨城県教育綱領」が公布される
16. 4.	初等教育部会、中等教育部会の他に国民教育部会、科学研究教育部会を設け戦時即応の研究体制を立てる
16. 12. 8	太平洋戦争始まる
17. 3.	社会法人茨城県教員互助会を本会に合併する
19. 5.	帝国教育会が改組されて「大日本教育会」となり本会はその支部となる
19. 9. 1	創刊から第720号まで継続してきた雑誌『茨城教育』を休刊する
20. 8. 15	ポツダム宣言を受諾 終戦
21. 8.	連合軍最高司令部より大日本教育会の改組が命ぜられる
23. 10. 27	「茨城県教育会」が県下教職員の新しい民主的団体として改組発足する
30. 10. 27	29日まで終戦後新たに設立した第7回日本連合教育会研究大会水戸大会を開催する（参加800名）
33. 1. 1	6・3制10周年記念事業として『茨城県教育史』（上巻）を刊行する
35. 1. 1	『茨城県教育史』（下巻）を刊行する
昭和39. 9. 17	連研（茨城県連合教育研究会）と教研（茨城県教職員組合）が発展的に統合し茨城県教育研究連盟が結成される
40. 10. 28	29日まで第17回日本連合教育会研究大会水戸大会を開催する（参加1,000名）
42. 3.	雑誌『茨城教育』730号を復刊する
46. 1.	『茨城教育』736号発行以後再び休刊となる
48. 10. 4	6日まで第25回日本連合教育会研究大会茨城大会を開催する（参加1,168名）
56. 12.	『茨城教育』第747号を復刊 以後今日まで年3回の定期刊行となる
62. 10. 15	18日まで第39回日本連合教育会研究大会茨城大会を開催する（参加1,500名）
平成元. 1. 12	創立百周年記念事業実行委員会を発足する
2. 8. 1	茨城県教育委員会教育長より「社団法人」の認可を受け水戸地方法務局に法人登記を完了する
2. 11. 17	創立百周年記念式典を水戸市民会館で開催 『茨城県教育会創立百周年記念誌』を発行する
3. 3. 8	地域研究シリーズ第1集、第2集合本を刊行する
3. 5. 9	3つの特別委員会（第1:地域教育 第2:課題研究 第3:教師研修）を設置し事業の推進を図る
3. 10. 15	地域研究シリーズ第3集を刊行する
4. 10. 20	地域研究シリーズ第4集、第5集合本を刊行する
4. 11. 17	「教育会のあらまし」を発行する
5. 2. 20	『基本を身につける学習』を刊行する
5. 10. 20	地域研究シリーズ第6集、第7集合本を刊行する

6. 6. 20	「本県における教師の意識調査」を刊行する
6. 10. 20	地域研究シリーズ第8集、第9集合本を刊行する
8. 2. 20	地域研究シリーズ第10集、第11集合本を刊行する
8. 6. 20	研究シリーズ第13集「本県における教師の意識調査Part 2」を刊行する
	研究シリーズ第14集「戦後教育50年の軌跡 ―運動会の変遷―」を刊行する
8. 10. 31	県南地区教育振興集会を開催する
9. 1. 24	「茨城教育創造へのシンポジウム」を開催する
9. 3. 7	定款の一部変更を行い役員の章に名誉会長の項を挿入する
9. 10. 21	県西地区教育振興集会を開催する
9. 12. 15	『基本を身につける 中学5教科の学び方』を刊行する
10. 3. 3	年度末総会において正会員会費を2,500円とする案が議決される
10. 3. 16	定款の一部変更（会費）が茨城県教育長より認可される
11. 10. 20	22日まで第51回日本連合教育会研究大会茨城大会を開催する（参加1,555名）
12. 10. 27	県東地区教育振興集会をレイクエコー女性プラザにて開催する
13. 5. 31	平成12年度教育研究論文集を刊行する
13. 10. 10	「地域に根ざした教育実践集」を刊行する
13. 10. 31	県北地区教育振興集会を日立シンビックセンターにて開催する
14. 8. 31	学校経営資料集「私はかく学校を経営する」を刊行する
14. 11. 19	「新しい時代の教育を考えるシンポジウム並びに講演会」を水戸市総合教育研究所にて開催する
16. 2. 20	「なめらかな幼小の連携を目指して」を刊行する
16. 6. 20	創立百二十周年記念事業「教育研究論文集」を刊行する
16. 8. 9	第3次地域教育振興委員会（読書活動）を設置する
16. 11. 17	地域教育振興事業（水戸市教育会との共催）「こどもの幸せを考える」講演会（講師：教育学博士 堀川賢壽先生）を水戸市総合教育研究所にて開催する
平成16. 11. 27	地域教育振興事業（日立市教育会との共催）「子どもの目線」講演会（講師：教育評論家 尾木直樹先生）を日立市民会館にて開催する
17. 8. 10	地域教育振興集会支援事業（稲敷市教育会との共催）「他人の心が分かる脳の不思議」講演会（講師：脳科学者 茂木健一郎先生）を稲敷市あずま生涯学習センターにて開催する
17. 8. 21	地域教育振興集会支援事業（常陸大宮市教育研究会との共催）「夢への挑戦」講演会（講師：元スピードスケート選手 堀井学先生）を常陸大宮市文化センターにて開催する
18. 2. 20	第3次地域教育振興委員会（読書活動）検討報告会を開催 報告書「本に親しむ子を育てる―多彩な支援の創出をめざして」を刊行する
18. 3. 16	県から定款の一部変更が許可される
18. 4. 1	第4次地域教育振興委員会（食生活・食習慣に関する指導）を設置する
18. 8. 11	地域教育振興集会支援事業（鹿島地区教育会との共催）「教育とは希望を育てること」講演会（講師：教育評論家 坂本光男先生）を鹿島勤労文化会館にて開催する
平成18. 11. 19	地域教育振興集会支援事業（筑西市教育研究会との共催）「筑西市教育の集い」講演会（講師：童謡歌手 坂入恵美・真紀デュオ）を明野公民館にて開催する
19. 8. 12	地域教育振興集会支援事業（古河市教育会との共催）「美しい地球を子どもたちに」講演会（講師：NPO法人 高木善之先生）をとねみどり館にて開催する
19. 12. 22	地域教育振興集会支援事業（常陸太田市教育研究会との共催）「僕の30年」講演会（講師：作曲家 マシコタツロウ先生）を常陸太田市民交流センターにて開催する
20. 2. 25	第4次地域教育振興委員会（食生活・食習慣に関する指導）検討報告書「生活リズムをつくる―望ましい生活習慣の育成のために食に関する指導をいかに進めるか」を刊行する
20. 7. 23	地域教育振興集会支援事業（行方地区教育会との共催）「子どもの危機 教育の未来」講演会（講師：教育評論家 尾木直樹先生）を行方市文化会館にて開催する
21. 2. 20	地域教育振興集会支援事業（ひたちなか市教育会との共催）「夢の探し方」講演会（講師：評論家 江川紹子先生）をひたちなか市文化会館にて開催する
21. 6. 20	平成20年度教育論文集を刊行する
23. 3. 11	14時46分宮城県東南東沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生 当地震によってもたらされた災害が「東日本大震災」と名づけられる
23. 4. 1	3. 11東日本大震災の被害により第63回日本連合教育会研究大会茨城大会をつくば市（つくば国際会議場）開催に変更する
23. 8. 10	『みちしるべ―後輩に託す応援歌』を出版する
23. 8. 18	19日まで第63回日本連合教育会研究大会茨城大会（つくば国際会議場）を開催する（参加1,234名）
23. 11. 10	「第63回日本連合教育会研究大会茨城大会集録」を発行する
24. 5. 6	平成24・25年度教育論文を募集する
25. 6. 6	第5次地域教育振興委員会（働くことに夢をもつ子どもの育成）を設置する
26. 2. 13	茨城県PTA連絡協議会を構成団体として承認する
26. 4. 1	水戸市地方事務局への登記完了をもって「一般社団法人 茨城県教育会」として再出発する
26. 6. 20	平成24・25年度教育論文集を電子ブックとしてウェブ上に掲載する
26. 8. 31	第5次地域振興委員会検討報告書「小学校からのキャリア教育の充実をはかるために」を刊行する

26.10.21	教育講演会「どうなる日本の教育」(講師:内閣府教育再生実行会議委員 貝ノ瀬滋先生)を水戸市総合教育研究所・視聴覚ホールにて創立百三十周年記念事業として開催する
平成26.11.20	「第1回小学校のキャリア教育推進協議会(3年計画の第1年次)」(講師:筑波大学教授 藤田晃之先生)を創立百三十周年記念事業として開催 第5次地域教育振興委員会検討報告書の趣旨を県内各小学校に広める機会とする
27.10.20	教育講演会「あすなろの教師生活～夢と希望と自信と自負と」(講師:日本連合教育会会長 後藤正幸先生)をつくば国際会議場にて開催する
27.11.27	「第2回小学校のキャリア教育推進協議会(3年計画の第2年次)」(講師:筑波大学教授 藤田晃之先生)を開催する。
28.3.31	公益目的支出計画実施完了確認書が県知事より送付される
28.8.8	「第3回小学校のキャリア教育推進協議会(3年計画最終年次)」(講師:筑波大学教授 藤田晃之先生)を開催する
28.11.25	教育講演会「これからの学校をどのようにつくっていけばよいか」(講師:茨城大学教育学部長 生越達先生)を茨城教育会館にて開催する
29.11.22	教育講演会(3年計画の第1年次)『次世代の学校』づくりと新教育課程(講師:文部科学省視学委員 貝ノ瀬滋先生)を茨城教育会館にて開催する
30.10.1	新規事業「平成30年度若手教員実践記録」募集 応募総数70点を数える
30.11.22	教育講演会(3年計画の第2年次)「新学習指導要領と新しい教育動向」(講師:文部科学省視学委員 貝ノ瀬滋先生)を茨城教育会館にて開催する
令和元.8.1	「若手教員実践記録」募集事業に係る研修会「優秀実践に学ぶ会」(講師:茨城大学教職大学院教授 生越達先生)を茨城教育会館にて開催する
元.9.30	併設していた(有)茨城県教育会出版を解散し本会の収益事業として展開する
元.11.20	教育講演会(3年計画の最終年次)「持続可能な学校づくりと地域づくり」(講師:文部科学省総合教育政策局専門職 西祐樹先生)を茨城教育会館にて開催する
2.2.28	文部科学事務次官通知「新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業について」により全国の学校が6月上旬まで一斉休校する
2.5.20	新型コロナウイルス感染症対策のため定時総会を書面表決方式に変更して実施する
2.8.20	また、様々な事業を中止または形態を変えて一部実施する
	第72回日本連合教育会研究大会香川大会が新型コロナウイルス感染症対策として1年延期となる
2.10.1	「令和2年度若手教員実践記録」募集 募集範囲を高校、特別支援学校にまで広げ応募総数が20点(うち高校、特支校3点)を数える
3.5.19	新型コロナウイルス感染症対策のため定時総会を書面表決方式にて実施する
3.11.11	教育講演会「学校の社会化」(講師:笠間市教育委員会教育長 小沼公道先生)を茨城県水戸生涯学習センター分館にて開催する。
4.5.19	3年ぶりに対面開催で定時総会を実施する(来賓の臨席と表彰はなし)
4.8.1	「若手教員実践記録」募集事業に係る研修会「優秀実践に学ぶ会」(講師:茨城大学教職大学院教授 生越達先生)を茨城県水戸生涯学習センター分館にて開催する
4.10.1	「令和4年度若手教員実践記録」募集 募集範囲を幼稚園・こども園にまで広げ応募総数が34点を数える
4.11.11	教育講演会「コミュニティ・スクールと教育イノベーション」(講師:笠間市教育委員会教育長 小沼公道先生)を茨城県水戸生涯学習センター分館にて開催する。
5.5.24	令和5年度定時総会を通常の形態で実施する。
5.8.1	「優秀実践に学ぶ会」に、小中高の教員38名と大学生13名が参加して開催する。
5.11.10	教育講演会「NEXT・GIGAの学びのデザイン ～AIと共に生きる時代の学び～」(講師 未来教育デザイン代表社員 平井 聡一郎先生)を茨城県水戸生涯学習センター分館にて開催する。
6.5.22	令和6年度定時総会をレイクビュー水戸で実施する。
6.10.1	「第4回若手教員実践記録募集事業」への応募者が50名を数える。
6.10.15	「GIGAスクール構想の実現に向けて」をテーマに県内5地区の代表による教育座談会を開催する。
6.11.5	教育講演会「GIGAスクール構想第2期に向けて今から取り組むべきこと」(講師 水戸市立五軒小学校教諭 高松 剛先生)を茨城県水戸生涯学習センター分館にて開催する。

令和7年度構成団体代表者または事務担当者名簿（令和7年5月1日現在）

（敬称略）

構成団体名		代表者／担当者	勤務校	役職	郵便番号	住所	電話番号	FAX
(1) 郡市教育会								
1	水戸市教育会	玉井 康浩	水戸市立常磐小学校	校長	310-0044	水戸市西原1丁目3-12	029-224-2272	029-224-2273
2	笠間市教育研究会	大関 律子	笠間市立大原小学校	校長	309-1701	笠間市小原3522-1	0296-77-0434	0296-78-2030
3	ひたちなか市教育会	塚本 清恵	ひたちなか市立勝倉小学校	校長	312-0024	ひたちなか市勝倉3010	029-272-2546	029-273-1986
4	常陸大宮市教育研究会	大澤 恵子	常陸大宮市立大宮西小学校	校長	319-2266	常陸大宮市拙ヶ台町2906-8	0295-52-0159	0295-54-0133
5	那珂市教育会	田所 秀紀	那珂市立第一中学校	校長	311-0111	那珂市後台2547	029-298-0040	029-298-0464
6	小美玉市教育会	三輪 輝子	小美玉市立納場小学校	校長	319-0134	小美玉市納場444	0299-48-0430	0299-48-0596
7	東茨城郡教育会	宮本 紀文	城里町立石塚小学校	校長	311-4303	東茨城郡城里町石塚2497	029-288-2026	029-288-4943
8	那珂郡東海村教育研究会	石井 邦典	東海村立照沼小学校	校長	319-1113	那珂郡東海村照沼905-2	029-282-2024	029-283-4037
9	久慈郡大子町教育会	長山 芳子	大子町立上小川小学校	校長	319-3361	久慈郡大子町境藤5017-2	0295-74-0029	0295-79-3655
10	日立市教育研究会	芳賀 俊英	日立市立日高中学校	校長	319-1413	日立市小木津町3-26-1	0294-42-4418	0294-43-6519
11	常陸太田市教育会	高橋 克典	常陸太田市峰山小学校	校長	313-0043	常陸太田市谷河原町298	0294-72-1306	0294-73-2702
12	高萩市教育研究会	久保田 将彦	高萩市立松岡小学校	校長	318-0003	高萩市下手綱43	0293-22-2430	0293-22-2148
13	北茨城市教育会	小野 政美	北茨城市立精華小学校	校長	319-1541	北茨城市磯原町磯原4-36	0293-42-0328	0293-42-0282
14	鹿嶋市教育会	山本 勇	鹿嶋市立三笠小学校	校長	314-0031	鹿嶋市宮中2042-1	0299-82-8101	0299-83-4091
15	潮来市教育会	佐藤 清	潮来市立潮来第一中学校	校長	311-2424	潮来市潮来1270	0299-62-2334	0299-62-3032
16	神栖市教育会	飯島 直之	神栖市立波崎西小学校	校長	314-0408	神栖市波崎5011	0479-44-0074	0479-44-6265
17	行方市教育会	河野 貞夫	行方市立麻生東小学校	校長	311-3821	行方市蔵川549	0299-80-7701	0299-73-2301
18	鉾田市教育会	高柳 繁	鉾田市立大洋中学校	校長	311-2117	鉾田市大蔵1337-1	0291-39-3231	0291-39-9154
19	土浦市教育会	廣田 晴彦	土浦市立東小学校	校長	300-0841	土浦市中455-1	029-841-0565	029-841-0910
20	石岡市教育会	小山 光之	石岡市立林小学校	校長	315-0131	石岡市林857-1	0299-43-0155	0299-44-0829
21	龍ヶ崎市教育会	内川 美佳	龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小学校	校長	301-0018	龍ヶ崎市8810	0297-64-3889	0297-64-3940
22	取手市教育会	富岡 富美	取手市立桜が丘小学校	校長	300-1525	取手市桜が丘2-17-1	0297-82-7791	0297-82-7792
23	牛久市教育会	塚本 桂子	牛久市立牛久小学校	校長	300-1221	牛久市牛久町2619	029-872-0004	029-871-5526
24	つくば市教育研究会	横田 康浩	つくば市立松代小学校	校長	305-0035	つくば市松代3-3-1	029-852-9380	029-852-2869
25	守谷市教育会	小林 優子	守谷市立愛宕中学校	校長	302-0109	守谷市本町4325-2	0297-48-6601	0297-48-6602
26	稲敷市教育会	細谷 順一郎	稲敷市立桜川小学校	校長	300-0634	稲敷市柏木4-5	029-894-2080	029-894-3080
27	かすみがうら市教育会	岡 祐己子	千代田義務教育学校	校長	315-0065	かすみがうら市上佐谷990	0299-59-3502	0299-59-6418
28	つくばみらい市教育会	櫻井 芳則	つくばみらい市立小絹小学校	校長	300-2445	つくばみらい市小絹858	0297-52-3008	0297-52-3884
29	稲敷郡教育会	菅澤 直美	阿見町立君原小学校	校長	300-0321	稲敷郡阿見町塙145	029-889-0118	029-889-0003
30	北相馬郡利根町教育会	林 雅之	利根町立利根小学校	校長	300-1622	北相馬郡利根町布川4230	0297-68-2055	0297-68-7876
31	古河市教育会	寺田 一宣	古河市立古河第三小学校	校長	306-0012	古河市旭町1-18-4	0280-32-0742	0280-32-0783
32	結城市教育会	塚田 裕史	結城市立結城南中学校	校長	307-0031	結城市大木1123	0296-35-0345	0296-35-3376
33	下妻市教育会	園崎 佳江	下妻市立下妻中学校	校長	304-0056	下妻市長塚乙38-1	0296-43-3961	0296-44-7428
34	常総市教育会	吉澤 博之	常総市立飯沼小学校	校長	300-2746	常総市鴻野山859-1	0297-43-7527	0297-43-7597
35	筑西市教育会	野口 修	筑西市立関城西小学校	校長	308-0126	筑西市関本中388	0296-37-6934	0296-37-6956
36	坂東市教育会	斉藤 睦子	坂東市立神大実小学校	校長	306-0616	坂東市猫実805	0297-39-2311	0297-39-3154
37	桜川市教育会	久下 英彦	桜川市立岩瀬小学校	校長	309-1223	桜川市鍛田553-5	0296-75-2059	0296-75-6500
38	結城郡八千代町教育会	石澤 功	八千代町立川西小学校	校長	300-3513	結城郡八千代町久下田440	0296-48-0039	0296-48-0452
39	猿島郡教育会	山崎 英男	境町立境小学校	校長	306-0433	猿島郡境町293	0280-87-0040	0280-87-2001
(2) 茨城大学附属学校・園								
1	附属幼稚園	長谷川 真人	茨城大学教育学部附属小学校	校長	310-0011	水戸市三の丸2-6-8	029-221-2043	029-227-2358
2	附属小学校		茨城大学教育学部附属小学校	校長				
3	附属中学校		茨城大学教育学部附属中学校	校長				
4	附属特別支援学校		茨城大学教育学部附属特別支援学校	校長				
(3) 茨城県高等学校長協会								
		深谷 靖	土浦第二高等学校	校長	300-0041	土浦市立田町9-6	029-822-5027	029-826-3522
(4) 県内指導主事								
		和田 尚志	茨城県水戸教育事務所	学校教育課長	310-0802	水戸市棚町1-3-1 茨城県水戸合同庁舎6階	029-227-4453	029-228-4699
(5) 県内社教主事								
		塚田 文栄	総務企画部生涯学習課	振興担当課長補佐	310-8588	水戸市笠原町978-6	029-301-5318	029-301-5339
(6) 茨城県PTA連絡協議会								
		草地 学		会長	310-0011	水戸市三の丸1-5-38 県三の丸庁舎3階	029-227-4779	029-231-3878

一般社団法人 茨城県教育会
令和7年度定時総会要項

令和7年5月21日発行

〈編集・印刷・発行〉

一般社団法人 茨城県教育会
会長 鹿志村 則男

〒310-0911

茨城県水戸市見和1丁目356番地の2

茨城県水戸生涯学習センター・分館2階

電 話 0 2 9 - 2 2 1 - 2 7 4 7

FAX 0 2 9 - 2 2 6 - 4 3 3 7

E-mail kyouikukai@ibk-kyouiku.or.jp

教育情報ネットワーク

kyouikukai@eo.ibk.jp



茨城県教育会 HP アクセス用 QR コード

